

東京工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	Grammar&WritingI	
科目基礎情報							
科目番号	0035		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	物質工学科		対象学年		1		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	Intensive English Grammar in 27 Lessons /Intensive English Grammar Training Book/総合英語 Forest (7th edition)/						
担当教員	堀 智子						
到達目標							
中学校で学んだ基本的な文法事項に加えて、高専入学後に学習する文法事項や構文などを理解し、活用・運用することができる。また、身近なことについて簡単な英語で書くことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		要改善レベルの目安（C評価）	
評価項目1		中学校で学習した文法項目などを理解し、活用・運用できる。		中学校で学習した文法項目などをおおむね理解し、活用・運用できる。		中学校で学習した文法項目などを理解できる。	
評価項目2		文の要素や品詞が理解でき、活用・運用ができる。		文の要素や品詞がおおむね理解でき、活用・運用ができる。		文の要素や品詞が理解できる。	
評価項目3		文型が理解でき、実際に英文を書くことができる。		文型がおおむね理解でき、実際に英文を書くことがで		文型が理解できる。	
評価項目4		時制の使い方を理解し、活用・運用ができる。		時制の使い方をおおむね理解し、活用・運用ができる。		時制の使い方を理解できる。	
評価項目5							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		1. 中学校で既習の文法事項や構文を理解できる。 2. 高校1年生レベルの文法事項や構文を理解できる。					
授業の進め方・方法		教科書を中心に基本的な文法事項について学習し、教科書や参考書の実践問題に取り組むことで学習内容の定着をはかる。各自が到達目標を達成できるよう、事前学習および復習を自発的に行うことを期待する。					
注意点		授業中に配布された資料などはファイルにとして保管すること。 指示された課題は期日を守って行うこと。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業の概要説明、春休み中の課題テスト			授業の進め方や受講に関する注意事項を確認する。また、課題テストをやることで復習しなければならない項目などを認識する。	
		2週	課題テストの振り返り、文のなりたちや品詞について学習する。			課題テストで間違った項目を理解でき今後の学習に生かせるようになる。また文のなりたちについて理解できる。	
		3週	品詞について復習し、文の種類について学習する。			英文の中で各単語の品詞が理解でき、疑問文・否定文などを使えるようになる。	
		4週	動詞の使い方、自動詞と他動詞の働きについて学習する。			動詞の自動詞と他動詞の働きについて理解し、見分けることができる。	
		5週	第1、第2、第3文型について学習する。			文型の考え方が理解でき、第1～3文型までを見分けることができる。	
		6週	第4、第5文型について学習する。			文型の考え方を理解し、見分けることができる。	
		7週	前期中間試験				
		8週	中間試験の振り返りをし、理解が不十分な点について復習する。			これまでの学習状況を概観でき、中間試験までの範囲の理解を深める。	
	2ndQ	9週	過去の時制について学習する。			時制の概念を理解し、過去形を使って英文を書くことができる。	
		10週	未来の時制について学習する。			未来時制について理解し、運用することができる。	
		11週	完了形の概念と現在完了形について学習する。			完了形について理解し、現在完了形を使うことができる。	
		12週	過去形、過去完了形、未来完了形について学習する。			過去形と過去完了の使い分けが理解でき、現在、過去、未来形を状況に応じて使うことができる。	
		13週	時制に関する総復習をする。			さまざまな時制について理解でき、状況に応じて使えるようになる。	
		14週	あらゆる時制を用いて英文を作る練習を行う。			さまざまな時制を用いて身近なことについて英文が書ける。	
		15週	これまでの学習内容を確認し復習する。			半期の授業内容を概観できる。	
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。		2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。		3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。		1	

				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	前1
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	3	
				相手を理解した上で、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ている。	3	
				集団において、集団の意見を聞き、自分の意見も述べ、目的のために合意形成ができる。	3	
				目的達成のために、考えられる提案の中からベターなものを選び合意形成の上で表現していくことができ、さらに、合意形成のための支援ができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0